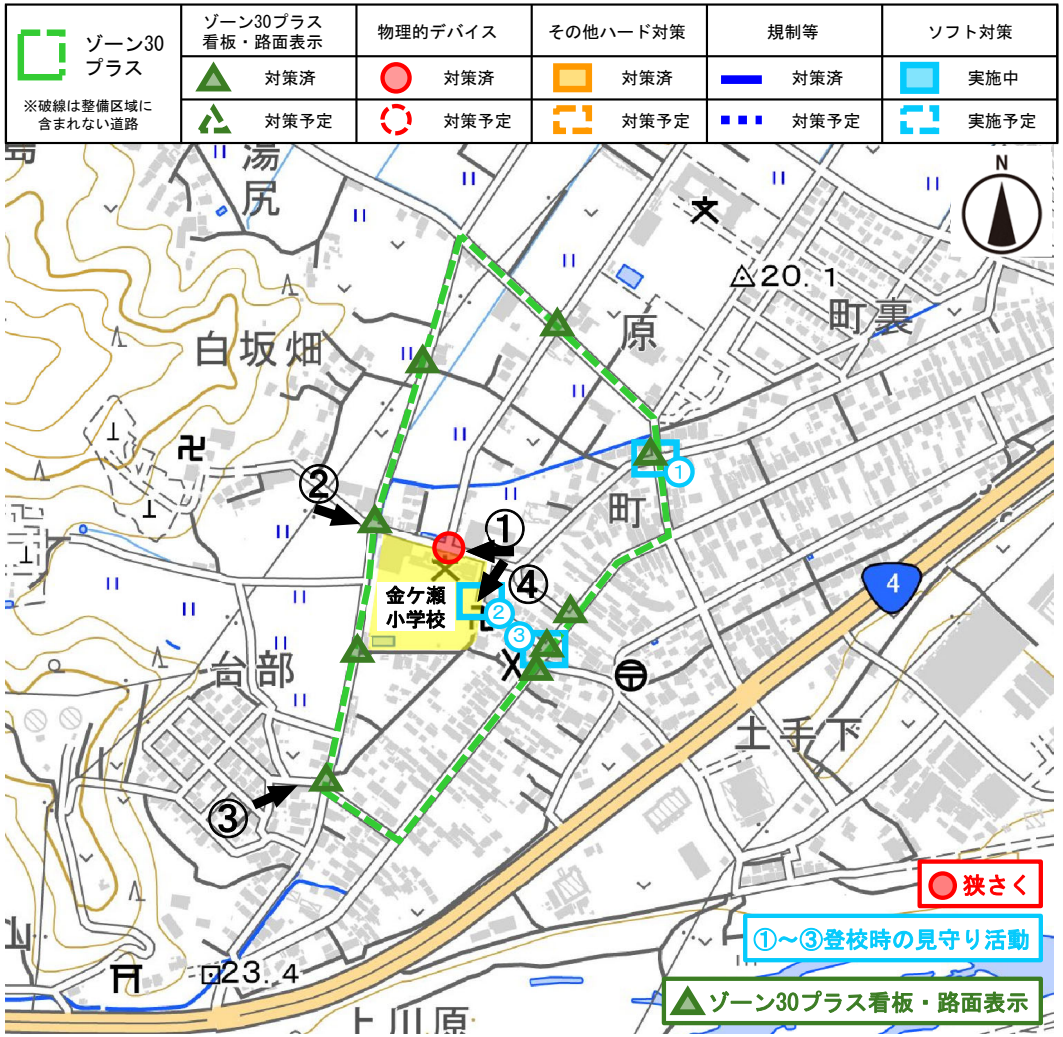
「ゾーン30プラス」の整備による効果事例（宮城県大河原町金ケ瀬地区）

〇大河原町金ケ瀬地区は、エリア内に金ケ瀬小学校が位置し、通学児童の安全対策が求められていたことから、狭さくやゾーン30プラス路面表示の設置など、面的な交通安全対策を実施（R6．3月に整備完了）

〇整備後には、エリア内の急ブレーキの発生率が約1割低下するなど、事故リスクの低減効果を確認

【エリア図】



出典：国土地理院地図

【対策の実施状況】



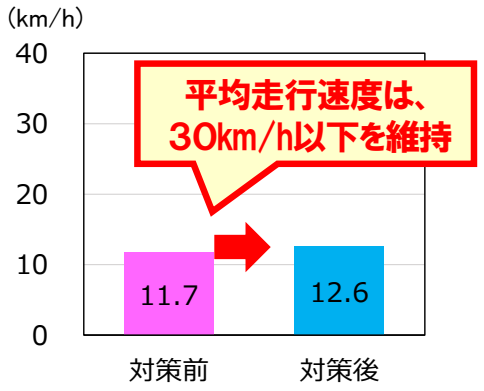
①狭さく（R6．3完成）



②ゾーン30プラス路面表示（R6．3完成）

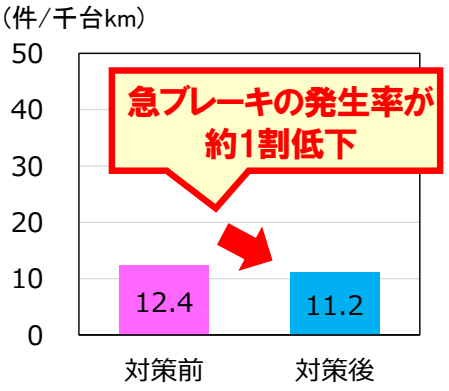
【面的対策の効果】

▼エリア内平均走行速度



※データ出典：ETC2.0プローブデータ
【整備前】R5.4～R5.6 平日（7:00-19:00）
【整備後】R6.4～R6.6 平日（7:00-19:00）

▼エリア内前後加速度（急ブレーキ）



※データ出典：ETC2.0プローブデータ
【整備前】R5.4～R5.6 平日（7:00-19:00）
【整備後】R6.4～R6.6 平日（7:00-19:00）
※急ブレーキ：前後加速度 -1.0G ～ -0.3G

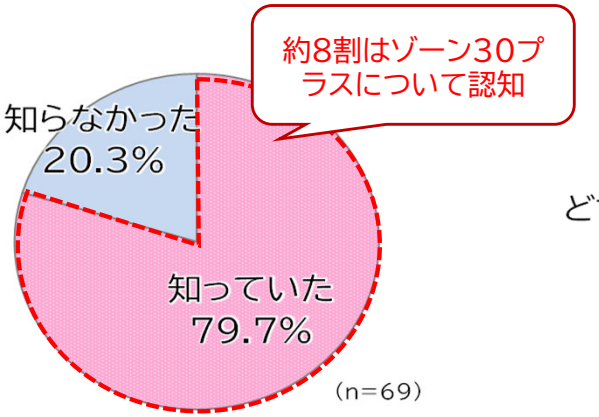
「ゾーン30プラス」の整備による効果事例（宮城県大河原町（おおがわらまち）金ケ瀬（かながせ）地区）

○当該地区の通学路の交通安全対策について、通学路を利用している方が実感している効果を把握するため、WEBアンケート調査を実施した。
○狭さく(ラバーポール)の設置により、道路利用者の**約7割が速度低下と安全性向上を実感**している。

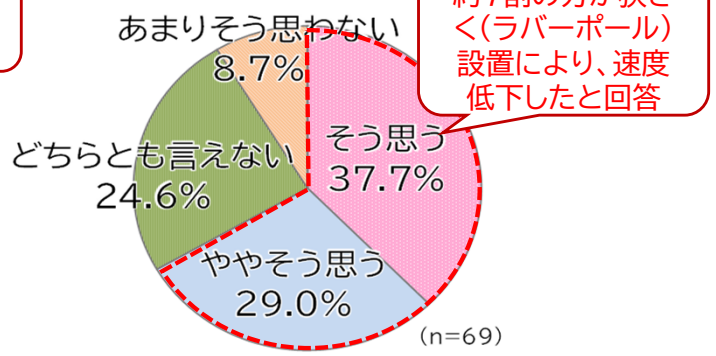
▼WEBアンケート調査概要

調査時期	令和7年10月～11月上旬
対象者	・金ケ瀬小学校教員 ・保護者 ・町内会
回答者数	69名

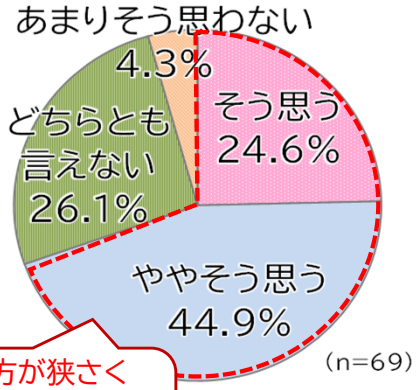
Q:ゾーン30プラスはご存じでしたか



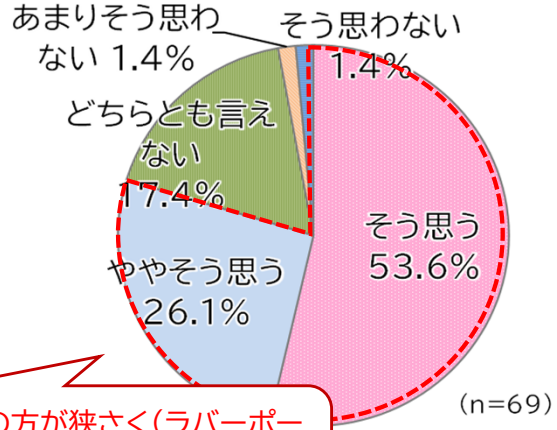
Q:狭さく(ラバーポール)が設置されたことで、走行している車の速度が低下したと感じますか



Q:狭さく(ラバーポール)が設置されたことで、安全に徒歩や自転車で通行できるようになったか。



Q:狭さく(ラバーポール)が設置されたことで、自転車やバイクを運転する際に速度を落とすようになったか。



Q:狭さく(ラバーポール)が設置されたことで、運転時の注意意識は高まりましたか。

